

「IRと内部質保証・認証評価」

【主催】教育システム分科会、事務システム分科会

活動報告

日時：2021年10月28日（木）15:00 -17:00

場所：オンライン分科会

出席者：64名

1. 研究内容

今回の分科会は「IRと内部質保証・認証評価」をテーマに掲げ、教育システム分科会と事務システム分科会が共同で企画開催しました。

はじめに、IRを積極的に推進している神戸学院大学様より、『大学は何を質保証すべきか？～IR機能の再確認～』と題した内部質保証とIRの関わりなどについて取組み事例をご紹介いただきました。後半の意見交換においては、参加者皆様に事前にお問い合わせしたアンケート等を題材として開催テーマに関するの深掘りや課題の共有など有意義な意見交換を行いました。

2. スケジュール

15:00 分科会開始
＜取組み事例のご紹介＞（30分）
『大学は何を質保証すべきか？～IR機能の再確認～』
神戸学院大学 全学教育推進機構室／教学IR室
サブリーダー 藤野 津芳 様

15:30 ＜意見交換＞
※参加者皆様に事前にお問い合わせするアンケート等を題材として開催テーマの深掘りや課題の共有など有意義な意見交換を行いました。

17:00 分科会終了

【分科会の様子】



3. 参加校 [30校42名] ・参加企業[3社22名] ・参加総数[64名]

亜細亜大学 [1] 追手門学院大学 [3] 大阪経済大学 [1] 大阪夕陽丘学園短期大学 [1] 鎌倉女子大学 [1] 関西国際大学 [1] 京都文教大学 [1] 共立女子大学 [4] 神戸学院大学 [1] 国士舘大学 [1] 芝浦工業大学 [2] 順天堂大学 [1] 駿河台大学 [1]	清泉女子大学 [2] 大東文化大学 [1] 千葉工業大学 [1] 中部大学 [1] 東海大学 [2] 東京都市大学 [1] 東洋学園大学 [3] 日本医療科学大学 [1] 羽衣国際大学 [1] 兵庫県立大学 [1] 福岡女学院大学 [1] 宮崎大学 [1] 明治大学 [2]	立正大学 [1] 流通科学大学 [1] 流通経済大学 [1] 早稲田大学 [2] 株式会社システムデザイン [1] 京都電子計算株式会社 [1] 富士通Japan株式会社 [20]
--	---	--

4. 所感（教育システム分科会運営委員会、事務システム分科会運営委員会）

今回、教育システム分科会、事務システム分科会合同でIRと内部質保証・認証評価をテーマに事例紹介・意見交換を行いました。各大学とも非常に興味があるテーマのため、非常に多くの方が参加されました。

神戸学院大学様の事例紹介では、内部質保証とIRの基本的な説明から、実際の運用面まで大変参考になる話が伺えました。後半のグループ討議では、予め分けられたグループにて、それぞれの大学の実情と課題を中心に積極的な意見交換がなされ、事後アンケートではもう少し先進的な事例を知りたかった、討議の時間をもう少し確保してほしいというご意見がありました。

各大学でも非常に興味があるテーマであったため、テーマ内容をより具体的なものにすること、時間配分の再検討を反省点として、次回以降に繋げるようにしていきたいと考えています。今後も皆様のご参加をお待ちしております。

【事務局より】

次頁以降に開催後アンケート結果（抜粋版）を記載しています。

開催後のアンケート結果について、詳細版をご覧になりたい方は、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

また、今回の分科会開催に際し、事前アンケートを行っています。事前アンケート結果につきましても、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載いたします。

「CS研・IS研情報交換サイト」について

○CS研・IS研の会員向けに情報・資料をご提供し、会員の皆様で情報交換をするサイトです。

URL : <https://www-std01.ufinity.jp/csiken/>

○情報交換サイトをご覧になるにはIDとパスワードが必要となります。お持ちでない場合は以下のサイトにてお申込みください。

お申込みサイト : <https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/46757>

【連絡先】

私立大学キャンパスシステム研究会 事務局

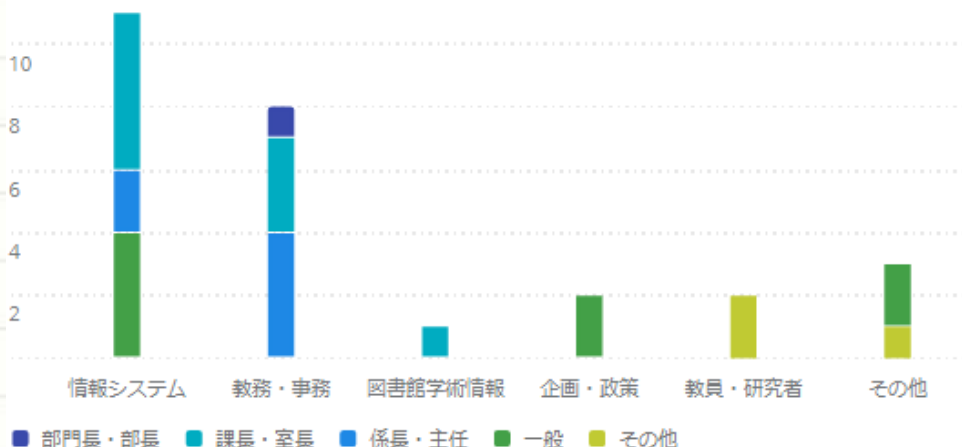
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

富士通Japan株式会社 デマンド創出・カスタマリレーション部内

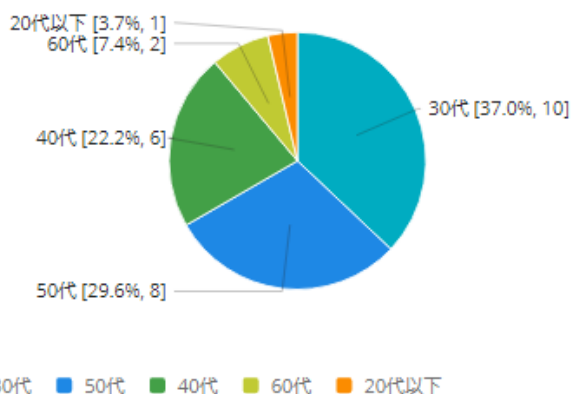
E-mail : fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com

開催後アンケート結果 【回答数／対象者数：28／42（大学関係者のみ）】

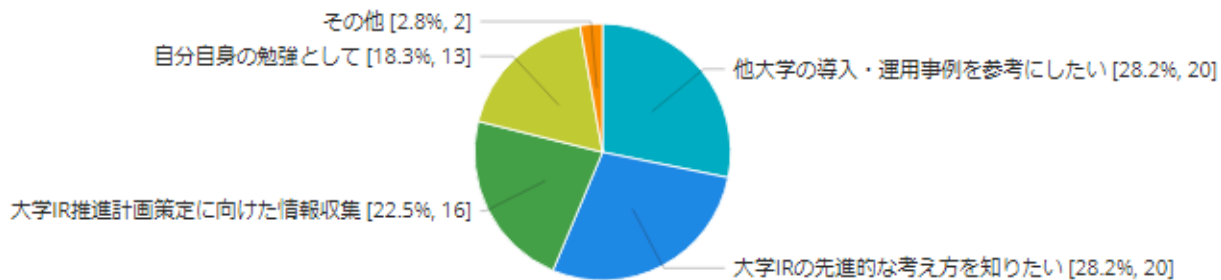
■ 担当業務と役職について



■ 参加者の年齢層について

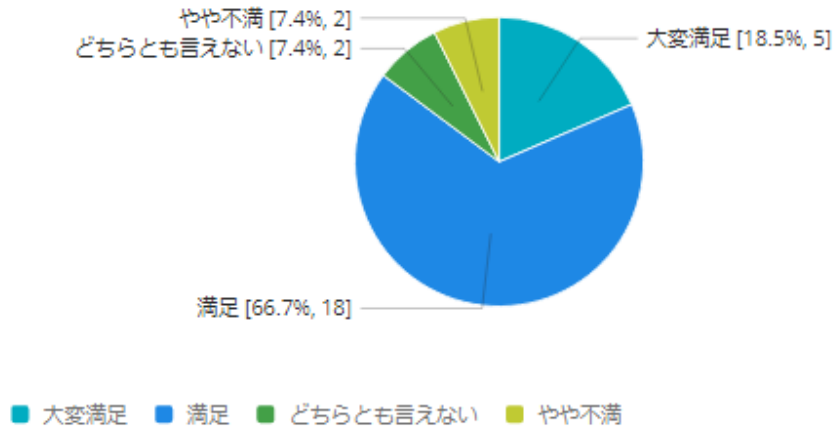


■ 参加した目的について



- 他大学の導入・運用事例を参考にしたい
- 大学IRの先進的な考え方を知りたい
- 大学IR推進計画策定に向けた情報収集
- 自分自身の勉強として
- その他

■ 本日の分科会の全体満足度



■ 全体満足度の評価理由について

■ 事例紹介、意見交換で良かった点

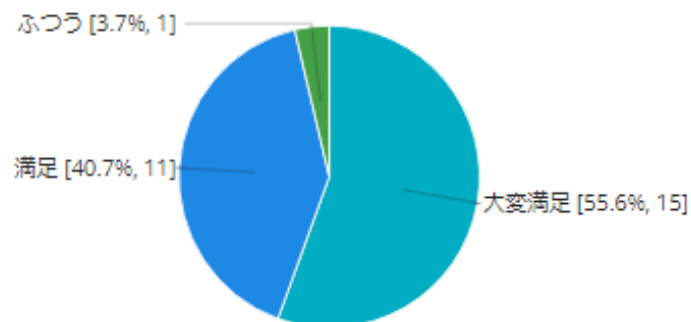
- 先進的な事例を知ることができた
- 他大学の状況や取り組みを知ることができた
- グループワークで他大学の方と意見交換できた
- 内部質保証・IRの関係について再整理できた
- よい示唆が得られた
- 導入部の事例紹介が、具体的かつ分かりやすい内容で前提知識の乏しい人も入りやすくよかったと感じた
- 各大学でIRの活動開始から数年たった経過や現状をきくことができた
- IRから内部質保証を考えるよい機会になった。

※回答が複数あったものには
下線を引いています。

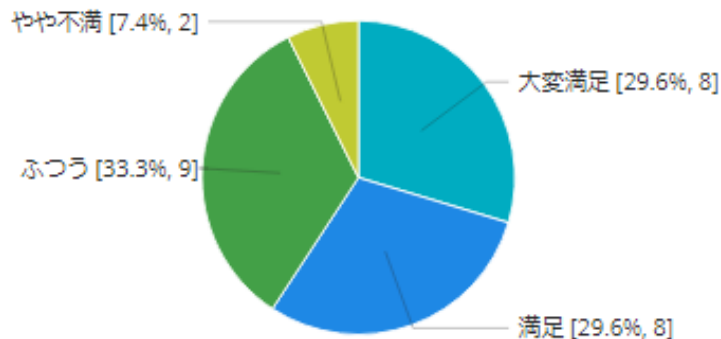
■ 内容・構成へのご意見、ご指摘

- 目的であった先進的な考え方まで議論の発展がなかった
- グループワークで各グループ共通のテーマで議論を行えば、グループでの比較が出来たのではないかと感じた
- 講演も意見交換も、もっとお話を聞きたかったので少し時間が短いと感じた

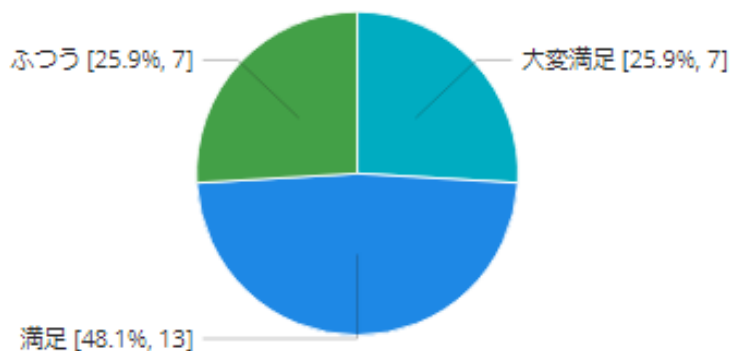
■ 神戸学院大学様の講演について



■意見交換の満足度について



■当日運営の満足度について



■CS研では、本年度は「キャンパス×DX」というテーマで勉強会や11月にワークショップを実施します。来年度も継続して同じテーマを予定していますが、来年度全体として実施してほしいイベント等はありませんか？
(一部省略・抜粋)

- タイムリーなトピックであれば何でも良い。
- 不本意入学や退学する学生への効果的なアクションは何か。分析してわかることは、春学期に出席率悪いと退学しやすいなど、入試区分や高校のレベルから見える傾向もあるようですが、何をしたらいいのかまで分からない。どの大学のレベルでも、不本意入学層はいると聞いている。入学前学生と在學生や教員、入学前学生同士のコミュニケーションの場を作ろうと思っているが、入学前に何ができるか、システムを利用してどう貢献できるかを考えている。
- 教学マネジメント、学修成果の可視化、IR

※回答が複数あったものには
下線を引いています。